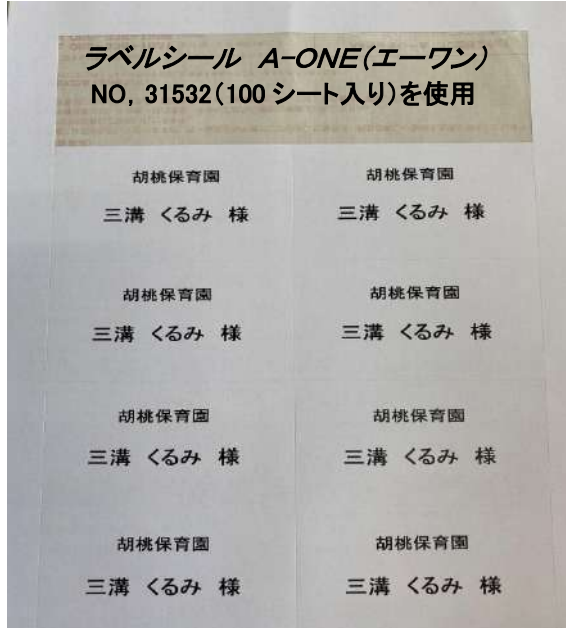


施設への推奨宅配方法

配達がわかりやすいように個人用のラベルを作成
(ラベルは印刷することによって特別感を出します)



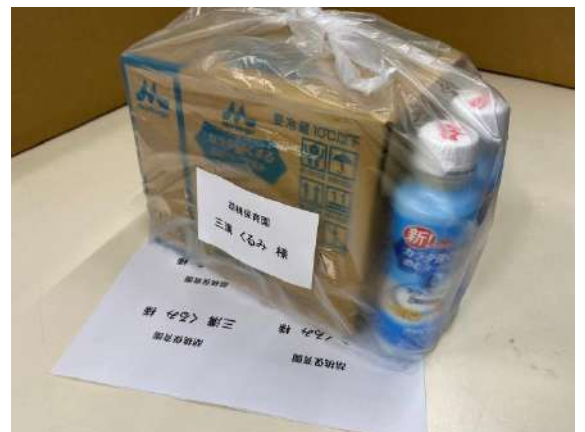
例1 『ヨーグルト各7個のご注文の場合』
各YGを大袋にまとめて入れると崩れてしまう為
まず、小袋に分けてから、大袋に入れます。
(小分けによって食べるYGの分離も防ぎます)



例2 『食べるYG14個・飲むYG7本の場合』
食べるYGは小袋に最大6個しか入らないため、
端数が出た場合は無理やり詰めず、飲むYGの中央に入れ、
バランスを取り、分離を防ぎます。



例3 『飲むYG14本の場合』
すべてバラにするのではなく、1ケース+バラ2本でまとめます。
そうすることによって、仕分けのときの袋詰めが時間短縮となり、
お客様も型崩れせずに、自宅へ持って帰れます。



施設宅配は現地に置いてこられるような、**保冷性の高い発砲ケースを用意します。**
サイズをそろえておけば、お届けする量によって使い分けられるので、とても便利です。



「便利ですよ～」



「車に積み込むときにも崩れないし、施設においてくるにも、安定感があるのでとても使いやすく便利

お届けする商品を入れます。ふたを開けたときに、**崩れて見栄えが悪くならないように気をつけます。**
量が多くて無理なときは、2ケースに分けてお届けすることによって、**商品がつぶれないようにも気をつけます。**



施設に商品をお届けし、お持ち帰りするまでに時間があるので、**商品が傷まないように、冷えた状態で持って帰ることができるように、最後に保冷剤を乗せます。**
(冷気は下にいくため、上に乗せると冷却効果が保てます)

施設内に部署が多い時(役所など)は、配達ミスを防ぐ為に箱の上に、**お届け先の部署名を必ず付けます。**
(紙だと破れたりするので、ラミネートでコーティングします)



見栄えはとても大事ですので、常にキレイな状態でお届けできるよう注意し、品質を保つため、商品につぶれが無いように、また、温度にも気をつけることによって、お客様満足度を高めることができます！